

憲法9条を活かした 安全保障とは？

伊藤塾塾長
弁護士 伊藤 真

日本国憲法 第9条

1項

世界標準

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。」

侵略戦争放棄

2項

前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。」

2項と合わせて、一切の戦争を放棄している。

戦争の手段を規制した2項こそが特に重要

憲法の基本的な考え方

<前文第2項>

- 日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて、**平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。**われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めてゐる国際社会において、**名誉ある地位を占めたいと思ふ。**

憲法の基本的な考え方

<前文第2項>

- 日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて、**平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。**われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めてゐる国際社会において、**名誉ある地位を占めたいと思ふ。**われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、**平和のうちに生存する権利**を有することを確認する。



ベルリンの壁



「壁の向こうに理解者、友人、仲間を
作れば、壁は壁でなくなる。」

(ダニーロ・ドルチ)

壁は物理的なものではなく、

私たちの意識の問題なんだ

Thomas Mann

真の教養とは、

人間は戦争してはいけな
いと
信じること

自国のことのみを考
えるのではなく、

他国のことも深く理解すること

2つの平和

9条を持つ平和国家としての
ブランド価値を高めていく

- 軍事力(武力)によらない平和(憲法体系)
 - 平和的生存権による信頼関係構築(敵をつくらない)
 - 軍事力以外の国際貢献(人を殺さない国)
- 軍事力(武力)による平和(安保法体系)
 - 日米同盟強化による抑止力強化(敵の存在を前提)
 - 軍事力による国際貢献(平和のために”人を殺す”国)
- 戦後日本の平和の歴史はこの2つの体系のせめぎ合いであった。自衛隊と安保条約の存在はあったが、それでも憲法体系を無視できず、一定の歯止めをかけてきた。

前文と9条の平和主義の下での 政府解釈の帰結

- 武力行使を**個別的自衛権行使に限定(専守防衛)**
- **海外での武力行使を禁止**(自衛官の武器使用に限定)
- 他国の武力行使との**一体化禁止**
 - 他国軍隊への支援は非戦闘地域、後方地域に限定
 - 支援内容も武力行使との一体化にならない範囲に限定
- 海外での自衛隊の活動を**後方支援、人道復興支援に限定**
 - 警護活動、安全確保活動、船舶検査活動のような前線での活動を行わない。
- **武器使用も自己保存権に基づくものに限定**
 - 任務遂行のための武器使用禁止
 - 危害射撃は刑法36条、37条に限定
 - 武器使用権限は部隊ではなく個々の自衛官に付与。
- **PKO参加五原則**による限定

- 武器輸出禁止
- ODA平和利用
- 宇宙平和利用
- 非核3原則

これらの縛りは前文と9条の平和主義があったからこそ

日本に期待される国際貢献は

- **核廃絶と軍縮**の内外での積極的推進
 - 核・生物・化学兵器の全面禁止など
 - 紛争後の**復興支援**
 - 武装解除、インフラ整備、農業支援、産業支援、財政援助、教育支援、法整備支援他
 - **紛争の原因除去**のための積極的活動
 - 飢餓、貧困、疾病、災害、人権侵害、環境破壊、経済と教育の格差といった構造的暴力をなくすために、国際社会において積極的な役割を果たす(**人間の安全保障の推進**)。
- 軍事力だけが国際貢献ではない。**
- 開発援助・復興支援・災害救助など日本の得意な分野があるはず。**非核と軍縮**の積極的推進も重要。

9条に関する3つの課題

1 日本の**国民を守る**ためには
どうするか(国防)。

不要

2 **米国の戦争に巻き込まれない**
ようにするにはどうするか。
(日米関係)

有害

3 世界の平和のための**国際貢献**
はどうするか(国際協力)。

有害

9条改憲がどのような意味を持つのか。

自民党自衛隊明記案

<9条の2>

- 1項 前条の規定は、我が国の平和と独立を守り、国及び国民の安全を保つために必要な措置をとることを妨げず、そのための実力組織として、法律の定めるところにより、内閣の首長たる内閣総理大臣を最高の指揮監督者とする自衛隊を保持する。
- 2項 自衛隊の行動は、法律の定めるところにより、国会の承認その他の統制に服する。

大切なこと

- 相手の立場に立って考える。
- 想像力を働かせる。
- 一歩先を考える。
- そして、具体的に考えること。
 - 自衛隊の実態を踏まえること。
 - 戦争のことを私たちは、どこまで知っているだろうか。

兵士が人でなくなる

- アメリカ海兵隊の新兵訓練の目的は、「人を殺せるようにすること」
 - 第二次世界大戦で、見える敵への発砲率が15～20%に過ぎなかったことの衝撃から訓練を見直す。
- 12週間の訓練の後、3ヶ月の実戦的訓練を積んだだけでイラク、アフガンの戦場に送られる。
- 98%の人間は人を殺せないが、人を殺すことに対する心理的なバリアーを除く教育が必要（同種殺しの抵抗感の除去）。
- 殺人を任務とする、人を殺せる人間に作られていく。

アメリカ帰還兵の現実

- 貧困層、仕事がない若者が軍隊に入らざるを得ない厳しい現実（**経済的徴兵制**）。
- 本当は大学に行きたかった（新兵の奨学金希望者**85%**）。その学費を奨学金で得たかったのに、実際には帰国後はそうした意欲も失われる（卒業できるのは**15%**）。
- **戦死者以上の帰還兵の自殺者**
- 麻薬、犯罪、貧困に苦しむ。
- PTSD、うつ病に苦しみ続けている。



夫のジェレド・ヘグマンさんが陸軍に入隊したのは、同時多発テロ事件がきっかけだった。



- 精鋭部隊に選ばれたジェレードさんは、**繰り返しアフガニスタンとイラクに派遣**された。その間、彼の様子は少しずつ変わっていったと、妻・アシュリーさんは話す。
- 「戦場で見たものや、自分がしたことの**悪夢**に苦しんでいました。症状がどンドンひどくなって、軍に助けを求めましたが、助けてはもらえませんでした。『お前は大丈夫だ。がんばれ』そう言われていました。
- 二人の息子と遊ぶのが何よりも好きだったジェレードさん。そんな彼を特に悩ませたのは、**戦場で目にする子供の姿**だった。

- 「武器を持った子供を見たら、自分が殺される前に射殺しろ、と教えられていました。夫は目に涙を浮かべて、震えながら、『そんなことをしたら自分を許して生きていくことはできない』と言っていました。」
- 8度目の派兵から自宅に戻った今年6月、ジェレードさんは自ら銃で頭を撃ち、命を絶った。

A close-up portrait of a young man with dark hair, smiling broadly. He is wearing a light-colored, vertically striped shirt. The background is a solid, muted purple color.

対テロ戦争の“深い闇”
米兵に自殺者急増

8度目の派兵から戻った6月
自殺——

帰還兵はなぜ

DAVID FINKEL, THANK YOU FOR YOUR SERVICE

デイヴィッド・フィンケル 古屋美登里・訳

自殺するのか



イラク・アフガン戦争から生還した兵士200万のうち、
50万人が精神的な傷害を負い、毎年250人超が自殺する。
戦争で壊れてしまった男たちとその家族の出口なき苦悩に迫る衝撃のレポート!

何も知らないまま戦争を始めようとしている人たちがいる。

内田樹氏推薦!

亜紀書房 定価: 本体2500円+税

作者: デイヴィッド・フィンケル,
古屋美登里

- アダムと共に戦争に行ったあらゆる兵士たち——小隊30人、中隊120人、大隊800人——は、元気な者ですら、程度の差はあれ、どこか壊れて帰ってきた。

- アダムと共に戦争に行ったあらゆる兵士たち——小隊30人、中隊120人、大隊800人——は、元気な者ですら、程度の差はあれ、どこか壊れて帰ってきた。アダムと行動を共にしてきた兵士のひとは、「悪霊のようなものに取りつかれずに帰ってきた者はひとりもいないと思う。その悪霊は動き出すチャンスをねらっているんだ」と言う。
- 「家で襲撃を受けるんだ」別の兵士が言う。「家でくつろいでいると、イラク人が襲撃してくる。そういうふうに見える。不気味な夢だよ」

- いたって体調がよさそうに見える兵士は、「妻が言うには、**ぼくは毎晩寝ているときに悲鳴をあげているそうだ**」と言ったあとで困ったように笑い、「でも、それ以外は何の問題もない」と言う。しかしほかの兵士たちと同じように、途方に暮れているように見える。
- 「あの日々のことを、**死んでいった仲間のことを、俺たちがやったことを考えない日は一日たりともない**」とある兵士は言う。「しかし、人生は進んでいく」

- 俺の頭の中はどうなってるんだ。昨夜、ベッドに腰を下ろして、部屋の向こう側にある椅子を見ていたら、そこに血まみれの女の子がいた。その後のことは思い出せない。俺はとんでもないパニック発作に陥ったらしい。死体の幻を見るのはこれが初めてじゃない。

- 俺の頭の中はどうなってるんだ。昨夜、ベッドに腰を下ろして、部屋の向こう側にある椅子を見ていたら、そこに血まみれの女の子がいた。その後のことは思い出せない。俺はとんでもないパニック発作に陥ったらしい。死体の幻を見るのはこれが初めてじゃない。死んだイラク人たちが浴槽に浮かんでいるのも見たことがある。どうして浴槽にいるのか、さっぱりわからない。

- 俺の頭の中はどうなってるんだ。昨夜、ベッドに腰を下ろして、部屋の向こう側にある椅子を見ていたら、そこに血まみれの女の子がいた。その後のことは思い出せない。俺はとんでもないパニック発作に陥ったらしい。死体の幻を見るのはこれが初めてじゃない。死んだイラク人たちが浴槽に浮かんでいるのも見たことがある。どうして浴槽にいるのか、さっぱりわからない。

いま暴れ回りたい気分だ。

Gerardo Mena

32歳 ミズーリ州出身 イラク西部へ



戦争でひどく苦い経験をして、初めて本当に大事な事実を学んだのだと思う。戦争には、栄光など決して存在しないのだということ。戦争とは、むごたらしくも悲惨で、恐ろしい暴力に他ならない。

どの戦争にも必ず
「戦争の後」がある。

「9条を変える」ということは、こうしたリスク
を私たちが引き受ける覚悟を持つこと。

今こそ、冷静さが必要

- 戦争の**悲惨な現実**を知ること
- 映画やゲームのようにかっこいいものなんかではない。残酷で、無残で、悲しいだけ。
- 耐えがたい苦痛を家族や友人にもたたらす。
- 武力行使によって**さらに重大な問題**を引き起こす。
- 軍事力以外の力を充実させること。

外交力、経済力、技術力、教育力、文化力、芸術力、そして理念の力。

2041
憲法上の權利を要求せよ

明治大帝によつて宣布された大日本帝國

憲法は次の如き權利を總ての日本國民に

保證してゐる。

日本臣民ハ居住及移轉ノ自由ヲ有ス。

日本臣民ハ許諾ナクシテ住所ニ侵入セ

ラレ及搜索セラルルコトナシ。

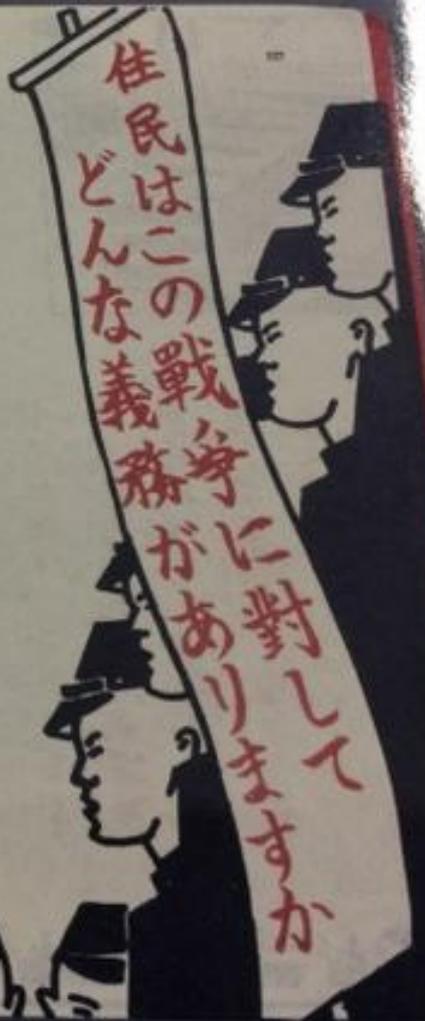
日本臣民ハ信書ノ秘密ヲ侵サルルコト

ナシ。

日本臣民ハ其ノ所有權ヲ侵サルルコト

ナシ。

日本臣民ハ信教ノ自由ヲ有ス。



- 一、皆さんは戦争に行きたかったですか。
- 二、皆さんは勝つ見込のない戦争をしたのですか。
- 三、戦争に負けて貧乏で暮らしたのですか。
- 四、深山の若い人々は戦争で死んで行きますが、これ等の若い人々をなくして、皆さんはこれからどうして暮らして行きますか。
- 五、皆さんはこの戦争で何か得をする事がありますか。
- 六、日本の軍部は皆さんの島を安全に守つて居てくれますか、又少ししか残つてゐない男の人を戦争に送つて居るではありませんか。
- 七、此の戦争は皆さん方の戦争ですか、それとも皆さん方を何十年も治めてきた内地人の戦争と思ひますか。



最後までお聴きいただき
ありがとうございました。

伊藤 真